



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月10日

上場会社名 サイボー株式会社

上場取引所 東

コード番号 3123 URL <https://www.saibo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯塚 剛司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部経理部長 (氏名) 米澤 幸男

TEL 048-267-5151

四半期報告書提出予定日 2020年11月11日

配当支払開始予定日

2020年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,310	△16.7	294	△24.4	359	△20.2	234	—
2020年3月期第2四半期	3,972	△10.0	389	—	450	—	△145	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 494百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 △141百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	17.76	—
2020年3月期第2四半期	△11.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	28,279	15,980	49.4
2020年3月期	27,351	15,582	49.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 13,958百万円 2020年3月期 13,561百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2021年3月期	—	7.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,675	△12.2	533	△25.6	548	△23.0	290	—	21.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	14,000,000 株	2020年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	800,007 株	2020年3月期	800,007 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	13,199,993 株	2020年3月期2Q	13,193,785 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により国内外における移動制限や生産活動再開の遅れ、各種イベントの開催自粛、飲食店・商業施設の営業時間短縮など経済活動の停滞が継続しています。また、国内経済はもとより、感染者が再拡大している欧米等世界経済の先行きは予断を許さない状況にあります。

当社グループにおける事業環境は、繊維事業では各部門において新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことにより需要が落ち込み、大変厳しい状況で推移しました。不動産活用事業は、「イオンモール川口前川」や病院施設等からの安定した賃貸収入を維持しており、営業収益の安定化が図られております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,310百万円（前年同期比16.7%減）となりました。営業利益は294百万円（前年同期比24.4%減）となり、経常利益は359百万円（前年同期比20.2%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は234百万円（前年同期は145百万円の同純損失）となりました。

事業別セグメントの概況は次のとおりであります。なお、事業別セグメントの売上高及び営業利益又は損失は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。

① 繊維事業

繊維事業を営む各事業部は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う衣料品を扱う小売店等の営業自粛や個人消費の落ち込み、関連商品を取り扱うプロ野球の開幕の遅れ、緊急事態宣言により当社グループにおいて営業活動の自粛等を行った影響から、販売が大幅に減少し減収減益となりました。なお、自社ブランドを百貨店中心に展開してきたメンズカジュアル品につきましては、前期中に撤退しており、コロナ禍の百貨店休業の影響は直接的にはありませんでした。また、キャンプ関連商品は一時的に販売が落ち込んだものの、コロナ渦であっても密にならないといった消費者心理により受注は前年並みに回復しました。

この結果、繊維事業の売上高は1,727百万円（前年同期比27.8%減）となり、営業損失は28百万円（前年同期は11百万円の営業損失）となりました。

② 不動産活用事業

不動産活用事業は、前期に未活用不動産であった2箇所新たな小規模商業施設を建築し賃貸を開始し、さらに新たな病院施設として「かわぐちレディースクリニック」を建築し、2020年4月から賃貸を開始したことにより、増収となりました。「イオンモール川口前川」は、近隣大型商業施設に比べ回遊型ショッピングができるというお客様の利便性と近隣住民の生活環境にあった専門店選びが評価されており、さらに埼玉県内の医療体制の充実を目的とした病院施設を賃貸することにより、不動産活用事業は安定した収益基盤を維持しております。なお、「(仮称)イオンモール川口」の建設は順調で、来年春に開業を目指しており、イオンモール(株)と協議をすすめております。

この結果、不動産活用事業の売上高は1,173百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は348百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業(株)が営む川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ練習場は、新型コロナウイルス感染防止の観点から一時自主的に休業を行った影響により大幅な減収となりました。なお、5月末から通常営業を再開しており、入場者数は7月以降、前年同月程度の水準まで回復してきました。下期以降においても、引き続き感染防止に配慮した営業を継続してまいります。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は354百万円（前年同期比23.0%減）、営業損失は38百万円（前年同期は47百万円の営業利益）となりました。

④ その他の事業

ディアグリーン課の緑化事業は、観葉植物のレンタル契約獲得が低調となりましたが、中元ギフト販売が伸び、また経費が削減され営業損失は減少しました。

神根サイボー(株)のインテリア施工事業は、一般住宅施工が堅調に推移したことや大口物件の受注もあり、増収増益となりました。

この結果、その他の事業の売上高は343百万円（前年同期比15.0%増）、営業利益は22百万円（前年同期比28.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べ927百万円増加して28,279百万円となりました。これは主に未収消費税等（流動資産の「その他」）が減少したことや減価償却費の計上により建物及び構築物等の減価償却資産が減少したものの、現金及び預金が増加したことや新しい大型商業施設等の建設に伴う建設仮勘定（有形固定資産の「その他（純額）」）が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ529百万円増加して12,299百万円となりました。これは主に長期借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ398百万円増加して15,980百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことやその他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ734百万円増加して2,292百万円となりました。

営業活動の結果、得られた資金は前第2四半期連結累計期間に比べ462百万円増加して1,276百万円となりました。これは主に固定資産除却損が減少したものの、税金等調整前四半期純利益の増加やその他に含まれる未収消費税等が減少したこと等によるものであります。

投資活動の結果、支出した資金は前第2四半期連結累計期間に比べ1,645百万円減少して831百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出や固定資産の除却による支出が減少したこと等によるものであります。

財務活動の結果、得られた資金は前第2四半期連結累計期間に比べ1,591百万円減少して289百万円となりました。これは主に長期借入れによる収入が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年8月7日に公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,818,024	2,534,723
受取手形及び売掛金	979,880	840,211
有価証券	99,990	-
商品及び製品	1,042,157	940,990
仕掛品	11,961	9,516
原材料及び貯蔵品	32,727	35,314
その他	341,634	77,214
貸倒引当金	△5,024	△4,647
流動資産合計	4,321,351	4,433,322
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,478,515	9,253,795
土地	7,462,378	7,468,349
その他(純額)	1,625,848	2,425,432
有形固定資産合計	18,566,742	19,147,576
無形固定資産	24,425	20,876
投資その他の資産		
投資有価証券	3,672,718	4,057,759
その他	835,790	699,727
貸倒引当金	△69,531	△79,866
投資その他の資産合計	4,438,977	4,677,620
固定資産合計	23,030,144	23,846,073
資産合計	27,351,496	28,279,396

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	469,612	401,975
短期借入金	50,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	811,450	818,226
未払法人税等	12,448	70,033
賞与引当金	53,958	51,883
役員賞与引当金	6,350	3,175
その他	215,906	313,085
流動負債合計	1,619,726	1,738,379
固定負債		
長期借入金	3,669,214	4,028,063
役員退職慰労引当金	252,838	235,423
退職給付に係る負債	184,164	192,753
長期預り保証金	5,494,917	5,566,369
資産除去債務	358,075	359,831
その他	190,412	178,206
固定負債合計	10,149,622	10,560,648
負債合計	11,769,349	12,299,027
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	872,299	872,299
利益剰余金	11,491,892	11,634,861
自己株式	△489,395	△489,395
株主資本合計	13,276,796	13,419,764
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	350,782	602,340
退職給付に係る調整累計額	△66,078	△63,622
その他の包括利益累計額合計	284,703	538,717
新株予約権	6,265	4,638
非支配株主持分	2,014,381	2,017,248
純資産合計	15,582,147	15,980,369
負債純資産合計	27,351,496	28,279,396

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	3,972,871	3,310,308
売上原価	2,864,929	2,385,101
売上総利益	1,107,942	925,207
販売費及び一般管理費	718,126	630,668
営業利益	389,815	294,539
営業外収益		
受取利息	955	914
受取配当金	51,134	46,161
持分法による投資利益	38,444	32,375
その他	15,353	20,545
営業外収益合計	105,886	99,996
営業外費用		
支払利息	12,585	14,508
貸倒引当金繰入額	26,473	9,957
その他	6,113	10,439
営業外費用合計	45,172	34,905
経常利益	450,530	359,630
特別利益		
新株予約権戻入益	1,408	2,196
特別利益合計	1,408	2,196
特別損失		
減損損失	-	23,971
固定資産除却損	621,610	-
特別損失合計	621,610	23,971
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△169,672	337,854
法人税、住民税及び事業税	11,312	66,504
法人税等調整額	△59,585	34,164
法人税等合計	△48,272	100,668
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△121,399	237,185
非支配株主に帰属する四半期純利益	24,424	2,778
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△145,823	234,407

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△121,399	237,185
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,552	248,052
持分法適用会社に対する持分相当額	8,061	8,781
その他の包括利益合計	△20,490	256,834
四半期包括利益	△141,890	494,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△166,493	488,421
非支配株主に係る四半期包括利益	24,603	5,599

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△169,672	337,854
減価償却費	298,560	329,286
減損損失	-	23,971
貸倒引当金の増減額(△は減少)	21,506	9,957
賞与引当金の増減額(△は減少)	433	△2,075
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,175	△3,175
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,080	8,588
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△14,404	△17,415
受取利息及び受取配当金	△52,089	△47,076
支払利息	12,585	14,508
持分法による投資損益(△は益)	△38,444	△32,375
固定資産除却損	621,610	1,688
売上債権の増減額(△は増加)	192,974	140,251
たな卸資産の増減額(△は増加)	51,165	101,025
仕入債務の増減額(△は減少)	△137,900	△67,637
預り保証金の増減額(△は減少)	△10,846	71,451
その他	△94,625	381,000
小計	684,758	1,249,831
利息及び配当金の受取額	54,817	49,804
利息の支払額	△12,585	△14,508
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	86,712	△8,675
営業活動によるキャッシュ・フロー	813,703	1,276,451
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	-	100,000
有形固定資産の取得による支出	△1,587,898	△958,601
固定資産の除却による支出	△927,752	△1,688
投資有価証券の取得による支出	△67,770	-
投資有価証券の売却による収入	67,440	4,430
定期預金の増減額(△は増加)	10,895	18,095
貸付けによる支出	△1,200	-
貸付金の回収による収入	2,690	2,700
その他	26,237	3,694
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,477,358	△831,370
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	250,000	150,000
短期借入金の返済による支出	△220,000	△120,000
長期借入れによる収入	2,240,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△278,482	△434,374
配当金の支払額	△91,354	△91,438
非支配株主への配当金の支払額	△2,732	△2,732
ストックオプションの行使による収入	5,190	-
その他	△21,134	△11,742
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,881,486	289,712
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	217,831	734,793
現金及び現金同等物の期首残高	1,782,235	1,557,417
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,000,067	2,292,211

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	不動産活 用事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	2,388,760	994,011	459,946	3,842,719	130,152	3,972,871	—	3,972,871
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,200	135,164	—	139,364	168,423	307,787	△307,787	—
計	2,392,960	1,129,175	459,946	3,982,083	298,575	4,280,659	△307,787	3,972,871
セグメント利益 又は損失(△)	△11,671	353,331	47,076	388,737	17,849	406,586	△16,770	389,815

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、緑化事業、インテリア施工事業を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	不動産活 用事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	1,723,425	1,038,654	354,225	3,116,304	194,004	3,310,308	—	3,310,308
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,247	135,161	—	139,409	149,332	288,741	△288,741	—
計	1,727,672	1,173,815	354,225	3,255,713	343,336	3,599,050	△288,741	3,310,308
セグメント利益 又は損失(△)	△28,009	348,343	△38,628	281,706	22,918	304,625	△10,086	294,539

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、緑化事業、インテリア施工事業を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産活用事業」において、今後の使用見込みがなくなったことにより、当第2四半期連結累計期間に減損損失23,971千円を計上しております。